



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)

2018年10月30日

上場会社名 株式会社アドバンテスト  
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長

(氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長

(氏名) 藤田 敦司

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3214-7500

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	143,577	62.4	33,763	355.5	35,097	450.8	30,149	512.0	30,149	512.0	35,008	528.4
2018年3月期第2四半期	88,412	16.0	7,412	10.9	6,372	30.1	4,926	32.2	4,926	32.2	5,570	

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2019年3月期第2四半期	165.35	151.81
2018年3月期第2四半期	27.80	25.42

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	290,647	180,035	180,035	61.9
2018年3月期	254,559	124,610	124,610	49.0

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2018年3月期		9.00		23.00	32.00
2019年3月期		50.00			
2019年3月期(予想)				25.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	265,000	27.9	53,000	116.4	54,500	124.4	46,000	154.1	46,000	154.1

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

詳細は、添付P.12「(5)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	199,566,770 株	2018年3月期	199,566,770 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2019年3月期2Q	5,799,593 株	2018年3月期	20,539,246 株
------------	-------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	182,341,468 株	2018年3月期2Q	177,199,310 株
------------	---------------	------------	---------------

(注)期末自己株式数には、業績連動型株式報酬 信託口が保有する当社株式(2019年3月期2Q 272,600株、2018年3月期 - 株)が含まれております。また業績連動型株式報酬 信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 経営成績の概況.....	P. 2
(2) 財政状態の概況.....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 12
(会計方針の変更) .....	P. 12
(セグメント情報) .....	P. 13
2018 年度第 2 四半期 決算(連結)の概要.....	P. 15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の状況 （単位：億円）

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	2019年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,056	1,468	39.0%
売上高	884	1,436	62.4%
営業利益	74	338	4.6倍
税引前四半期利益	64	351	5.5倍
四半期利益	49	301	6.1倍

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、保護主義的な通商政策の拡大に端を発した貿易摩擦の激化や新興国通貨安が影を落とす中、全体としては安定的な成長が続きました。中国など新興国の一部では景気減速の兆候が見られましたが、米国では力強い経済成長が続いたほか、欧州や日本においても緩やかなながらも成長軌道が維持されました。

半導体関連市場においても、全体として成長が続きました。データセンターの能力増強投資を背景に、高性能なメモリに対する需要が旺盛であったほか、スマートフォンの高性能化を支えるために、S o C半導体の微細化・高機能化が積極展開されました。これらの半導体市場の動向を背景に、大手半導体メーカーでは、より高性能な半導体の量産に向け、テスト・システムへの投資が積極的に行われました。

このような良好な事業環境のもと、当社は、強みとする充実した製品ポートフォリオと広い顧客基盤を活かし、拡大する製品需要の取り込みと市場シェアの向上に努めました。また当社製品への引き合いが増加し続ける中、生産能力の一層の増強にも努めました。

当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが109円（前年同期111円）、ユーロが130円（同124円）となりました。

これらの結果、受注高は1,468億円（前年同期比39.0%増）、売上高は1,436億円（同62.4%増）と、ともに前年同期比で大幅に伸長しました。売上高の増加を受け、営業利益は338億円（同4.6倍）、税引前四半期利益は351億円（同5.5倍）、四半期利益は301億円（同6.1倍）と、利益についても前年同期比で大幅に改善しました。海外売上比率は94.7%（前年同期92.3%）です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

（単位：億円）

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	2019年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	704	1,119	59.0%
売上高	577	1,051	82.3%
セグメント利益	77	322	4.2倍

当部門では、スマートフォンの基幹部品であるアプリケーション・プロセッサの性能向上が進展していることで、S o Cテスト・システムの需要が大きく伸長しました。A I等に使われる、ハイエンド・ロジックICのテスト需要も伸びました。タッチセンサ組み込みなど、ディスプレイ・ドライバICの高機能化に即したテスト能力増強の動きも進みました。またデータセンター用のメモリ需要の伸びを受けてDRAM用テストの需要が増加したほか、NANDフラッシュメモリの3次元化の進展に呼応して不揮発性メモリ向けのテスト需要も堅調でした。

以上により、当部門の受注高は1,119億円（前年同期比59.0%増）、売上高は1,051億円（同82.3%増）、セグメント利益は322億円（同4.2倍）となりました。

## ＜メカトロニクス関連事業部門＞

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	2019年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	220	217	△1.2%
売上高	168	218	29.2%
セグメント利益	7	5	△16.1%

当部門では、メモリ・テストと事業関連性の高いデバイス・インタフェース製品やテスト・ハンドラ製品の販売が伸びたものの、それら製品の製造原価率上昇が損益の重石になりました。顧客の微細化投資スケジュールとの兼ね合いから、ナノテクノロジー製品の需要も伸びを欠きました。

以上により、当部門の受注高は217億円（前年同期比1.2%減）、売上高は218億円（同29.2%増）、セグメント利益は5億円（同16.1%減）となりました。

## ＜サービス他部門＞

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	2019年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	132	132	△0.6%
売上高	139	167	19.8%
セグメント利益	11	36	3.2倍

当部門では、半導体市場が全体として活況であるなか、中古品販売事業は市中の中古テスト・システムが枯渇したことで軟調でした。一方で、当社製テスト・システムの保守サービスに対する需要は順調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は132億円（前年同期比0.6%減）、売上高は167億円（同19.8%増）、セグメント利益は36億円（同3.2倍）となりました。

## (2) 財政状態の概況

当第2四半期末の総資産は、前年度末比361億円増加し、2,906億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が170億円、営業債権およびその他の債権が138億円それぞれ増加したことなどによります。負債合計は、前年度末比193億円減少し、1,106億円となりました。この主な要因は、株式への転換により社債が240億円減少したこと、未払法人所得税が23億円増加したことなどによります。また、資本合計は、1,800億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比12.9ポイント増加し、61.9%となりました。この主な要因は、社債の転換で自己株式が560億円減少したことなどによります。

## (3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より170億円増加し、1,210億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益351億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の増加（△128億円）、棚卸資産の増加（△30億円）に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、192億円の収入（前年同期は、110億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億円の支出（前年同期は、8億円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（△27億円）および有形固定資産の売却による収入（19億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46億円の支出（前年同期は、162億円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による支出（△41億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

保護主義的な通商政策の拡大から、世界経済の先行きには不透明感が強まっています。また世界経済の減速と連動した設備投資減少や、半導体需要の調整への懸念も台頭しつつあります。これらのリスク要因が当社の事業に与える影響を今後も注視してまいります。

一方で、当社が主たる収益基盤を置くテスト・システム市場については、底堅い推移を見込みます。SoCテスト・システム市場では、スマートフォンの高性能化が進展する中、スマートフォンの基幹部品であるアプリケーション・プロセッサに対する半導体メーカーの積極的なテスト・システム投資が続いています。同じく高機能化が進むディスプレイ・ドライバIC向けでも、旺盛なテスト・システム需要が継続する見通しです。またAIや5G等の新たなテクノロジーの広がりを背景に、ハイエンド・ロジックIC向けのテスト・システム需要も堅調な先行きを見込んでいます。メモリ・テスト・システム市場においても、より高速・大容量なメモリデバイスの生産増を背景に、一定のテスト・システム需要が維持される見通しです。

以上により、当連結会計年度の通期連結業績予想を、次の通り修正いたします。受注高は2018年7月時点の2,200億円から2,550億円へ、売上高は2,300億円から2,650億円へ、営業利益は345億円から530億円へ、税引前利益は348億円から545億円へ、当期利益は278億円から460億円へ、それぞれ上方修正します。当連結会計年度下期に対する業績予想の前提となる為替レートは、米ドルが110円、ユーロが135円です。7月時点の業績予想の前提とした為替レートから、米ドルについて5円円安の方向で見直しました。ユーロについては変更ありません。なお、当社および国内子会社の従業員を対象とした確定給付企業年金制度の一部を第3四半期に確定拠出年金制度へ移行することにより、清算益約25億円を当業績予想に織り込んでいます。

当社は2018年6月、中長期的な半導体テスト市場の潮流に 대응するため、半導体テスト・システム事業の組織をグローバルで統合しました。これは、2018年4月に公表した10年ビジョン「グランドデザイン」で将来ありたい姿として掲げた、「テスト・測定ソリューションのNo.1プロバイダー」となるための基盤構築を企図したものです。当組織を母体とした、競争力が高かつ顧客にとって価値のあるソリューションの開発・提供を通じて、一層の市場シェア伸長と業績向上に取り組んでまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	103,973	120,988
営業債権およびその他の債権	37,929	51,707
棚卸資産	49,627	52,958
その他の流動資産	4,784	4,874
(小計)	196,313	230,527
売却目的で保有する資産	830	-
流動資産合計	197,143	230,527
非流動資産		
有形固定資産	29,232	29,899
のれんおよび無形資産	15,287	16,269
その他の金融資産	2,414	2,501
繰延税金資産	10,127	10,972
その他の非流動資産	356	479
非流動資産合計	57,416	60,120
資産合計	254,559	290,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	43,258	43,979
社債	29,872	5,906
未払法人所得税	4,247	6,564
引当金	3,042	2,594
その他の金融負債	554	986
その他の流動負債	6,224	6,394
流動負債合計	87,197	66,423
非流動負債		
退職給付に係る負債	40,353	41,427
繰延税金負債	1,099	1,396
その他の非流動負債	1,300	1,366
非流動負債合計	42,752	44,189
負債合計	129,949	110,612
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,466	42,992
自己株式	△ 77,724	△ 21,653
利益剰余金	125,204	120,173
その他の資本の構成要素	1,301	6,160
親会社の所有者に帰属する持分合計	124,610	180,035
資本合計	124,610	180,035
負債および資本合計	254,559	290,647

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)  
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月 30 日)
売上高	88,412	143,577
売上原価	△ 42,956	△ 66,472
売上総利益	45,456	77,105
販売費および一般管理費	△ 38,588	△ 44,396
その他の収益	580	1,109
その他の費用	△ 36	△ 55
営業利益	7,412	33,763
金融収益	561	1,392
金融費用	△ 1,601	△ 58
税引前四半期利益	6,372	35,097
法人所得税費用	△ 1,446	△ 4,948
四半期利益	4,926	30,149
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,926	30,149
1 株当たり四半期利益		
基本的	27.80円	165.35円
希薄化後	25.42円	151.81円

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	47,715	72,646
売上原価	△ 22,839	△ 33,739
売上総利益	24,876	38,907
販売費および一般管理費	△ 20,173	△ 21,946
その他の収益	499	1,016
その他の費用	△ 16	△ 32
営業利益	5,186	17,945
金融収益	107	640
金融費用	△ 488	△ 25
税引前四半期利益	4,805	18,560
法人所得税費用	△ 870	△ 2,303
四半期利益	3,935	16,257
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,935	16,257
1株当たり四半期利益		
基本的	22.18円	88.25円
希薄化後	20.20円	81.61円

## (要約四半期連結包括利益計算書)

## (第2四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	4,926	30,149
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の公正価値の純変動	-	37
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,202	4,822
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 558	-
税引後その他の包括利益	644	4,859
四半期包括利益	5,570	35,008
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,570	35,008

## (第2四半期連結会計期間)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	3,935	16,257
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	504	2,979
売却可能金融資産の公正価値の純変動	14	-
税引後その他の包括利益	518	2,979
四半期包括利益	4,453	19,236
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,453	19,236

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2017年4月1日 残高	32,363	44,319	△ 86,039	113,676	5,198	109,517	109,517
四半期利益				4,926		4,926	4,926
その他の包括利益					644	644	644
四半期包括利益	-	-	-	4,926	644	5,570	5,570
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 250	2,328	△ 1,147		931	931
配当金				△ 2,122		△ 2,122	△ 2,122
所有者との取引額等合計	-	△ 250	2,327	△ 3,269	-	△ 1,192	△ 1,192
2017年9月30日 残高	32,363	44,069	△ 83,712	115,333	5,842	113,895	113,895

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2018年4月1日 残高	32,363	43,466	△ 77,724	125,204	1,301	124,610	124,610
会計方針の変更の影響				788		788	788
修正再表示後期首残高	32,363	43,466	△ 77,724	125,992	1,301	125,398	125,398
四半期利益				30,149		30,149	30,149
その他の包括利益					4,859	4,859	4,859
四半期包括利益	-	-	-	30,149	4,859	35,008	35,008
自己株式の取得			△ 737			△ 737	△ 737
自己株式の処分		△ 74	776	△ 417		285	285
転換社債の転換		△ 575	56,032	△ 31,433		24,024	24,024
配当金				△ 4,118		△ 4,118	△ 4,118
株式に基づく報酬取引		175				175	175
所有者との取引額等合計	-	△ 474	56,071	△ 35,968	-	19,629	19,629
2018年9月30日 残高	32,363	42,992	△ 21,653	120,173	6,160	180,035	180,035

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,372	35,097
減価償却費および償却費	2,373	2,457
売却可能金融資産売却益	△ 349	-
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	2,525	△ 12,840
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 3,395	△ 3,037
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	3,083	526
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	87	△ 452
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	983	863
その他	844	△ 142
小計	12,523	22,472
利息および配当金の受取額	245	445
利息の支払額	△ 48	△ 3
法人所得税の支払額	△ 1,691	△ 3,716
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	11,029	19,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	851	-
売却可能金融資産の取得による支出	△ 216	-
有形固定資産の売却による収入	1,819	1,855
有形固定資産の取得による支出	△ 1,289	△ 2,718
無形資産の取得による支出	△ 401	△ 182
その他	39	△ 6
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	803	△ 1,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	936	283
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 737
社債の償還による支出	△ 15,000	-
配当金の支払額	△ 2,121	△ 4,111
その他	△ 7	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 16,193	△ 4,565
現金および現金同等物に係る換算差額	784	3,433
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 3,577	17,015
現金および現金同等物の期首残高	95,324	103,973
現金および現金同等物の四半期末残高	91,747	120,988

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第9号「金融商品」

当社は第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号「金融商品」を適用しております。この新しい基準書は従来のIAS第39号「金融商品：認識及び測定」を置き換えたものです。この基準は、金融商品の分類、認識および測定（減損を含む）に対応したものであり、新たなヘッジ会計のモデルを明示したものです。

この基準書の適用による当社の当第2四半期連結累計期間の業績および財政状態に与える影響はありません。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

当社は第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS第15号の適用に伴い、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約の特定

ステップ2：履行義務（個別に会計処理すべき財又はサービス）の識別

ステップ3：取引価格（契約対価合計）の算定

ステップ4：取引価格の各履行義務への配分

ステップ5：各履行義務の充足時点又は充足に応じた収益の認識

上記の5ステップアプローチに基づき、顧客との契約における履行義務の識別を行なったことによる主な影響は以下のとおりです。

設置作業を必要とする製品について、従来、設置作業が完了した時点で売上を計上しておりましたが、当基準書の適用により、製品の納入と設置作業が別個の履行義務として識別されるものについては、各履行義務が充足された時点で収益を認識しております。これにより、2019年3月期の期首利益剰余金が11億円増加しております。

また、当基準書の適用により一部サービスの履行義務の識別に差異が生じる結果、2019年3月期の期首利益剰余金が3億円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の四半期要約連結損益計算書においては、当基準書の適用により、売上高が約34億円減少しております。

## (セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位: 百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	57,636	16,845	13,931	—	88,412
セグメント間の売上高	26	—	—	△ 26	—
合計	57,662	16,845	13,931	△ 26	88,412
セグメント利益 (調整前営業利益)	7,687	651	1,133	△ 2,059	7,412
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	7,412
金融収益	—	—	—	—	561
金融費用	—	—	—	—	△ 1,601
税引前四半期利益	—	—	—	—	6,372

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	105,129	21,756	16,692	—	143,577
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	105,129	21,756	16,692	—	143,577
セグメント利益 (調整前営業利益)	32,248	546	3,647	△ 2,500	33,941
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△ 178
営業利益	—	—	—	—	33,763
金融収益	—	—	—	—	1,392
金融費用	—	—	—	—	△ 58
税引前四半期利益	—	—	—	—	35,097

前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	30,979	9,657	7,079	—	47,715
セグメント間の売上高	26	—	—	△ 26	—
合計	31,005	9,657	7,079	△ 26	47,715
セグメント利益 (調整前営業利益)	5,129	731	429	△ 1,103	5,186
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	5,186
金融収益	—	—	—	—	107
金融費用	—	—	—	—	△ 488
税引前四半期利益	—	—	—	—	4,805

当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	54,150	10,678	7,818	—	72,646
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	54,150	10,678	7,818	—	72,646
セグメント利益 (調整前営業利益)	16,751	105	1,745	△ 542	18,059
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△ 114
営業利益	—	—	—	—	17,945
金融収益	—	—	—	—	640
金融費用	—	—	—	—	△ 25
税引前四半期利益	—	—	—	—	18,560

- (注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 株式報酬費用は、ストック・オプションおよび業績連動型株式報酬の費用であります。
3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益をベースとしております。
4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

## 2018年度第2四半期 決算(連結)の概要

### 1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2017年度 実績	2018年度実績					2018年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	2,478	706	762	7.8%	1,468	39.0%	(2,200) 2,550	2.9%
受注残	828	△30 795	830	4.4%	△30 830	39.7%	(698) 698	△15.7%

(注)1. 上段( )の数値は、2018年7月25日発表時の予想であります。

2. IFRS15号適用に伴い、2018年度の期首受注残を△30億円調整しております。

### 2. 損益

(単位:億円)

	2017年度 実績	2018年度実績					2018年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	2,072	709	727	2.4%	1,436	62.4%	(2,300) 2,650	27.9%
売上原価	△1,006	△327	△338	3.1%	△665	54.7%	-	-
販売費および一般管理費	△826	△225	△219	△2.2%	△444	15.1%	-	-
その他の収益	6	1	10	10.9倍	11	91.2%	-	-
その他の費用	△1	△0	△0	39.1%	△0	52.8%	-	-
営業利益 (売上高比率)	245 (11.8%)	158 (22.3%)	180 (24.7%)	13.4%	338 (23.5%)	4.6倍	(345) 530 (20.0%)	2.2倍
金融収益・金融費用	△2	7	6	△14.5%	13	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	243 (11.7%)	165 (23.3%)	186 (25.5%)	12.2%	351 (24.4%)	5.5倍	(348) 545 (20.6%)	2.2倍
法人所得税費用	△62	△26	△24	△12.9%	△50	3.4倍	-	-
当期利益 (売上高比率)	181 (8.7%)	139 (19.6%)	162 (22.4%)	17.0%	301 (21.0%)	6.1倍	(278) 460 (17.4%)	2.5倍

(注)上段( )の数値は、2018年7月25日発表時の予想であります。

### 3. 財政状態

(単位:億円)

	2017年度 実績	2018年度実績		
		4Q末	1Q末	2Q末
総資産	2,546	2,718	2,906	6.9%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	1,246	1,425	1,800	26.3%
親会社所有者帰属持分比率	49.0%	52.4%	61.9%	-

### 4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2017年度実績			2018年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	9.00	23.00	32.00	50.00	25.00	75.00